

湖山西地区 地域づくり懇談会 議事録

1 日 時 平成24年8月30日(木) 19:00~20:45

2 会 場 湖山西地区公民館

3 出席者 地元出席者 58名

市側出席者 16名

竹内市長、深澤副市長、中川教育長、羽場総務部長、堀防災調整監、大島都市整備部長、谷口環境下水道部長、西村企画推進部次長、井上農林水産部次長、藤井都市整備部次長、山本環境下水道部次長、富山危機管理課参事、尾室企画推進部次長

<事務局>安本協働推進課長(司会)、谷村協働推進課主任、岡田協働推進課主任

4 「地域防災計画の見直し」について

スクリーンに基づき説明(危機管理課参事)

5 「協働のまちづくり」についての報告

(湖山西地区公民館長) ※スクリーンに基づき説明

湖山西地区が取り組んでいるまちづくり協議会の成功例と言っては語弊があるかもしれませんが、現在行われている取り組みの状況をご紹介します。

順調に進んでいる取り組み事例として、「湖山西ワクワクまつり」をご紹介します。平成22年度までは公民館中心の公民館祭りとして、地域の方々のご協力で文化祭として10月の終わりに取り組んでいましたが、平成21年の秋に策定した地域コミュニティ計画に基づきまして、平成23年度の秋に地域住民が主体となって、「湖山西ワクワクまつり」として実施しました。これは、公民館祭りに代わる秋の文化祭を実施しようということで、各種団体、町内会、公民館関係の教室の皆様のご協力を得て実行委員会を立ち上げ、内容を大幅に拡大しました。この建物の中だけで実施していたものを、体育館も利用するというので、盛大に実施いたしました。

まず、オープニングセレモニーでは、末恒にある第五幼稚園の子どもさんによる鼓笛隊をお招きして、盛大に開催することができました。もちろん地元の地域の皆様の傘踊りもご披露させていただきました。展示関係では、地域の幼稚園、保育園の作品から小学校、中学校、高等学校の作品、そして今まであまり参加のなかった大学も協力して作品を出してくれました。それから、従来もやっていたのですが、お店屋さんによる多くのテント村ができました。子どもたちを含め、多くの地域の方々に野菜等をたくさん購入していただきました。

ステージ発表では、公民館の教室を中心として発表させていただきました。もちろん大学の方からも参加していただいて、ジャグリングや大学でやっている文化関係のステージ発表もしていただきました。それから、昔から行われているものづくりや遊びに子どもたちが喜んで参加してくれまして、それを指導される地域の大人の方も一緒に参加して楽しみ、

非常に人気がありました。地元には湖山池がありますので、湖山池のクイズコーナー等でも、本当に子どもたちは私たちが知らない中身も非常によく知っていました。身近にある湖山池について、小学校の先生方の努力もあると思いますが、よく知っていたなという気がいたします。

また、まちづくり協議会が中心となって幾つかの事業を実施しています。地域の絆づくりを目指した主要な取り組みということで、1つは湖山西地区で毎年8月に実施している防災フェアには、約300人の参加者がありました。毎年5月に実施している湖山西校区町民運動会の参加人数は延べ2,000人に達したのではないかと気がしています。3つ目に、湖山西地区敬老会で、主催は地区の社会福祉協議会ですが、まちづくり協議会は財政的、人的な支援を行わせてもらっています。4つ目に、先ほど紹介しました湖山西ワクワクまつりで、今年も10月に実施する予定です。昨年はおよそ2,000人の参加がありました。5つ目に、子どもが主役のイベントとして、たこ揚げ、もちつき大会を平成22年度に実施し、紙飛行機、もちつき大会は23年度に実施しましたが、どちらにも子どもたちを中心に350名の参加がありました。それから、湖山池の北岸清掃を年3回実施し、1回ごとにおよそ50名が参加して、北岸の草取り、ごみ拾いを中心とした清掃活動を行っています。

ただ、いろいろ問題があります。1つは、地域コミュニティ計画が作成されてから4年が経過しています。この間、計画に沿って幾つかの事業を実施してきていますが、計画どおりしているものといっていないものがあります。4年経過して5年目を迎えますので、もう一度計画を見直して、新たな計画を作り直してはどうかという気がしています。それから、湖山西自治会、各種団体とまち協との連携強化を前提として事業、それから活動分野の明確化を図っていく必要があるのではないかと。それから、まちづくり協議会に5つの部会が設けてあるのですが、この部会体制をもう一度見直す時期に来ているのではないかなという気がしています。4番目として、公民館だよりとまち協の広報紙が、別々に発行されていますが、できたら一体化できないだろうかという課題もあります。また、災害時要援護者の支援体制に基づく支援制度に、174名の登録があるという報告がありましたが、自治会に加入されていないが、支援を必要とされている方が近くにありはしないかということもありまして、要援護者の再登録としてもう一度皆さんの手で調査を行う必要があるような気がしています。

(竹内市長)

まちづくり協議会の広報誌と、公民館の公民館だよりを一緒にするというのは、地区公民館がまちづくり協議会の事務局になっていることなども考え合わせて、そういう方向性に向かってもいいのではないかとお聞きしながら思ったのですが、何か難しい点があるのでしょうか。他の地域では、一緒になっているところも、別々のところもあって、一般的には別の方が多様な気はしますが、そろそろ機も熟してきた感じもあります。一緒になる方向で横の連携をとって、他の公民館との話し合いなどもあっていいと思うのですが、そのあたり、他の館の状況などについてはどういうふうにご承知でしょうか。

(湖山西地区公民館長)

まちづくり協議会の中に5つの部会がありまして、その部会の中に広報委員会があります。この広報委員会のメンバーもいますが、まだ手慣れていないという状況もあり、なかなか機能しないという面もあります。その部会の中にある広報委員会というのは、できたら独立した形で広報活動をやっていたらという思いもあります。

それで、他の地域の状況を館長会議等がありましたときに聞いてみますと、一緒にやっていて、表は公民館活動、裏はまちづくり協議会という形で広報活動をしていると。あるところは、まだそこまでできていないというところもありまして、せっかくまちづくり協議会で5つの組織ができていますので、地域の方の活動ということは、やはり地域の方の主体性を発揮していただいて、地域の方が積極的に取り組んでいただくと。それで公民館が、お手伝いをするということはできますが、ワクワクまつりも全くそうで、まず地域の方が自分たちの手で進めていかなければ地域の活動につながりません。公民館におんぶにだっこということでは、いつまでも地域の活動は他人任せになりがちなところが多々ありますので、まず地域の住民の方に意識改革をしていただいて、自分たちの地域は自分たちの手をつくっていくということをまず実践していただけたら、公民館は事務局としてそのお手伝いは惜しみなくやっていきます。ワクワクまつりも当初は公民館がすべて企画してやればいけないかというお話もありましたが、いや、そうではない、会長さんが地域のワクワクまつりは地域住民でやるのだということで、規模を拡大して実行委員会をつくってやられましたので、広報についても同じことが言えるのではないかなという気がしています。

(竹内市長)

お話を伺って、よく分かりました。いろんな観点もあると思いますが、できるだけ多くの管轄区域内の方にまちづくり協議会のことも知っていただきたいし、公民館だよりと、ここで言うまち協の広報紙を一体化してできるだけ多くの方に届けていく形を目指すと同時に、それぞれ別のねらいもありますから、紙面がごっちゃになるのもいいか悪いかの議論はあります。できるだけ一体化すれば編集、あるいは発行経費なども削減できるのではないかなとも思っていて、こういう方向性を検討されているのは、今後を考えた上でいいことではないかなと思います。

特に、一番のねらいとしては、自治会に加入していない人も含めて、公民館だよりやまち協の広報紙を見ていただくような方向性にまで広がっていけば、広い基盤のもとにまちづくり協議会も活動できたり、多くの方がいろんなイベントに参加できたりするのではないかなと感じたところです。今後検討を続けていかれると思いますので、また機会を見てお話が伺えたらと思います。

6 地域の課題についての市長等との意見交換

1 湖山池北岸（クラーク高校から鳥大ボート艇庫間）のインフラ等の整備について

<地域課題>

(1) 市道の整備改善

①現状

・この市道は西側が行き止まりとなっていて、大型車両が途中の踏切を横断できず、鳥取

大学正門前を通過するコースしか走行できない。

・この市道は、南5丁目及び湖山町西1丁目から3丁目に在住する大学生、教職員等の通学路となっているが、道幅も狭く大型車両が頻繁に通行することから、歩行者・自転車利用者にとって必ずしも安全な道路とは言いがたい。

・車両が通行できる大寺屋地内のJR踏切は、車両が通過するための待機スペースが殆どなく、踏切の待機時間も長くいつも渋滞して、運転者のイライラを募らせる難所となっている。

・最近、この踏切の西側にアパートが建築され、左右の見透しが一層悪化している。

②改善措置

・現在、行き止まりとなっている市道の西側を改修して、鳥取医療センターへの侵入道路に接続して、県道への迂回路を形成する。

・南5丁目「大学前町内会」地内の市道の側溝を整備して少しでも拡幅し、歩行者等の安全確保に努める。(地区要望で提出済み)

・永年の懸案事項でもある、湖岸周回道路の一日も早い完成に全力投球して欲しい。ジオパークに組み込まれた湖山池の価値を一層高めることにもつながると考える。

<担当部局の所見等>

【都市整備部】

・市道湖山町南三津線は鳥取市B&G海洋センター付近で終点となっています。それより先は、湖東大浜土地改良区が農業施設として所有している農道であり、さらにその先の道路は西医療センターの敷地内道路であるため、市道療養所線への接続は困難と判断しています。

・市道大学通りの大学前町内会地内における側溝整備については、平成23年度地区要望でも要望をいただき検討を進めていましたが、U型側溝の部分について本年度より年次的に蓋かけを実施していきたいと考えています。

・湖岸周回道路は、永年難航していた三津地内竜ヶ崎付近の管理道用地問題が解決し、現在鳥取県が管理道整備を進めています。市もこれにあわせ、隣接した広場の整備を進めて

市道の整備改善(市道湖山町南三津線)



市道湖山町南三津線 現況写真①



市道湖山町南三津線 現況写真②



いきます。

なお、整備後には、湖山池1周ウォーキング大会なども開催し、広く湖山池をPRしていきたいと思えます。

○管理道（歩行者・自転車・管理車のみ通行可）

（都市整備部長）

まず、砂利の採取場からのトラックが通行していて、市道療養所線の方に抜けられないかというご提案をいただいています。

この市道療養所線は、まさに療養所に向かうために入っている道路ですので、こちら側は立派につくってありますが、療養所の裏の通路は建物の間を通過して、市道療養所線への接続は少し難しいと考えています。砂利採取場のトラックの行き来について、県から許可がおりて採取していますので、県との間で業者さんに申し入れができないものかということをご検討させていただきたいと考えています。

それから、市道大学通りです。こちらは道路幅が大変狭いところですので、本年度より順次、この側溝への蓋掛けをして、少しでも歩行者の空間が広げられるように取り組んでいきたいと考えています。

続きまして、湖岸周回道路についてです。三津地内の竜ヶ崎付近の管理用道路として長年難航していた県の用地取得が今年度解決して、現在、鳥取県がこの秋のうちに管理用道路が通れるように整備を進めています。市もこのエリアに関しまして、広場として整備して、あわせて、あずまやとかベンチを配置したいと考えています。現在、日程については関係者と調整させていただいているところですが、11月18日には、せっかくつながりました道路を使い、冬バージョンの湖山池1周ウォーキングができないかということも検討させていただいているところです。

<地域課題>

（2）公共下水道の整備

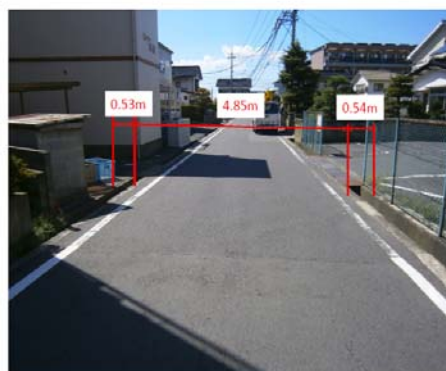
市道湖山町南三津線 現況写真③



市道の整備改善(市道大学通り) 位置図



市道大学通り 現況写真①



①現状

- ・ ボート艇庫(大学・県有)に設備されているトイレの早急な改修が必要
- ・ 現状は、衛生的にも、環境的にも公共下水道の敷設による改善が強く望まれる。

②改善措置

- ・ 県もこのトイレの水洗化を検討しているとの報道があったが、市の考えと現状の進捗状況を聞きたい。

<担当部局の所見等>

【環境下水道部】

公共下水道については、艇庫に隣接する東側の市道大学附属通りに下水道本管が埋設されています。

県有湖山艇庫については、現在設計中です。年末に着手し、年度内には公共下水道へ接続する予定と伺っております。

鳥大艇庫につきましても、現在、接続への検討中とのことです。

(環境下水道部長)

まず県の艇庫についてですが、普段の練習に伴うシャワーや、大会時にはトイレが満杯になるということで、昨年度から県と協議をしてまいりました。これについて、3月に日本海新聞の報道発表がありました。現段階の県の状況は、設計に入っていて、年内には工事発注を、年度内にはこの完成を行いたいということをお知らせをいただいています。

続きまして、鳥大の方についても、定期的に私どもも鳥大と協議をしています。回答文書には、現在、接続への検討中との回答がありました。これについて、今日5時頃鳥大から、下水の方の詳細の説明を聞きたいという電話がありました。これがすぐ本年度できる格好にはならないかも分かりませんが、鳥大も前向きに検討していただいているので、また皆さんに近いうちに工期的なことについてお知らせができるのではないかと思います。

<地域課題>

(3) 街路灯の設置



①現状

- ・この区間には、中電やN T Tの電柱が敷設されていないため、防犯等の設置等が困難な区間になっている。
- ・クラーク高校の学生の通学路となっており、日没後の通学の安全確保面から、学校側からの改善要望も強い。

②改善措置

- ・この区間は、湖山池北岸の景観スポットでもある点を考慮して、それにふさわしい街路灯の設置を要望したい。
- ・この区間にある県有牧草地は、近くN P O法人に貸与され、地元との協働によりグリーン広場化される見通しである。
- ・そうなれば、夕涼み等による住民の憩いの場ともなり、街路灯設備も必要となる

<担当部局の所見等>

【都市整備部】

鳥取市が道路の照明として設置する街路灯は、設置基準に基づいて、車両の交通量等を勘案したうえで、主要交差点や橋梁、夜間の交通上特に危険な箇所を設置しており、要望箇所については設置基準に合わないため設置できません。

防犯灯設置要望について要望箇所には電柱がありません。早々に中国電力に依頼し建柱について調整を行いました。中国電力から建柱はできないと回答をいただきました。したがって電柱に設置するタイプの防犯灯についても設置は困難です。

なお、近年はソーラー発電の照明灯がつくられており検討の余地があります。防犯灯は、維持管理費を地元で負担していただき市が設置する制度ですので、ソーラー照明灯の維持管理に必要となるバッテリーの交換費用等の負担方法について関係者（地区、グリーンフィールド等）がまとまれば設置について検討したいと考えています。

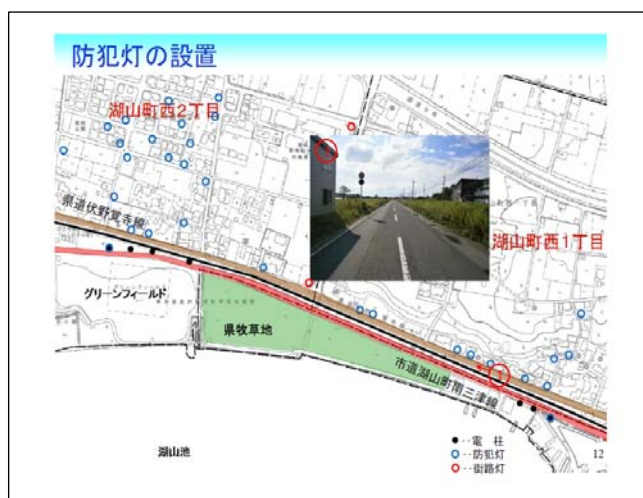
なお、広場の活用に必要な照明については施設管理者の鳥取県と協議をお願いします。

（都市整備部長）

街路灯の設置の説明を申し上げます。県と市と連携して芝生化を推進している関係上、芝生化が進むということは大変うれしく思っています。ここはそもそも電柱がありませんので、中国電力に確認したところ、やはりこちらに施設がないものですから、電柱を立てることはできないと伺っています。

しかし、通学路でもあるということで、電柱がないからといって防犯灯をつけないとあきらめるのもつたいないところだと考えまして、自力でソーラー発電、ソーラーパネルが上に乗ったような防犯灯を設置できないかと考えています。

ただ、ご存じのとおり鳥取市の防犯灯は、基本的には設置に関しましては市がやらせて



いただきますが、例えばメンテナンス等に関してのランニングコストは地元にご協力をいただくことを全市的にお願いしているところです。今回、ソーラーパネルの防犯灯を仮に設置するとしますと、照明はLEDですからかなり長くもつとして、そのソーラーパネルで発電したものを蓄電池、充電池にため込んで夜光ということになりますので、毎日毎日充電と放電を繰り返して、3年ぐらい経つとバッテリーが傷んできます。実際こういう防犯灯があるということを地元にご提示させていただいて、お住まいがないところですので、より広い観点から、もしかしたらNPOさんとの間でも、イニシャルコストをもし市が持って、ソーラー防犯灯を設置させていただいたときに、バッテリーの3年ごとの交換に関してご検討いただく余地がないかといったことを、これから地元にご相談させていただければと考えています。

ちょっとただし書きが多くて申し訳ないのですが、あくまで市が設置させていただくとしても市道の側になりますので、もし牧草地側の散策などをイメージされておられるようでしたら、もちろん市も一緒に協議に入らせていただきますが、牧草地の管理者の、もしくは湖山池自体の管理者の県との調整の場がまた別途必要になろうと考えています。

2 生活道路の舗装及び側溝の整備について

<地域課題>

(1) 現状

・湖山西2丁目から3丁目にかかる農道及び水路は、湖東大浜土地改良区が所有し管理権を有しているが、実質的には住民の生活道路や生活排水の側溝として、日常生活に直接関係するインフラとなっています。

・これらの施設に問題が生じて、管理者は殆ど対応せず、再三、市の支援をお願いせざるを得ない実態になっています。

・本年4月下旬には、季節はずれの暴風雨により、この側溝が周辺の畑地からの飛砂により埋没し、生活排水の流れがせき止められる事態となった。幸い市の関係部門のご配慮により適切に処理していただき安堵したところです。

(2) 改善措置

・このような不安は今後も継続する状態に置かれているので、安心して暮せる生活環境の実現に向けて、市が直接維持管理できるよう、管理者との積極的な対応を行なって欲しい。

<担当部局の所見等>

【農林水産部】

ご存じの通り、農道及び農業用水路は、湖東大浜土地改良区が所有・管理されており、同改良区の承諾の下に、住民の方がこれらの施設を利用することができます。

現状は、これらの農業施設を利用される農業者の方が実際におられます。この農業者がおられる限り、同改良区はこれらの施設を維持管理すべきですので、その旨を市から同改良区に対して説明してきており、市として施設を維持管理することはもとより、引き取ることもできません。

また、この維持管理のためにも、受益者の負担は必要になると考えられます。

なお、同改良区がこの水路の砂除去・修繕等の作業を実施されるにあたり、その費用の

2割を負担されることを前提に市に申請されれば、市は今までどおりそれを支援させていただきます。

更に、農道、農業用排水路等については、将来農業者がおられなくなる、又は同改良区が解散する等の理由により農業用施設としての利用がなくなった場合には、これらの施設を、市道認定或いは市管理とすることも検討します。

(農林水産部次長)

ご存じのとおり、ここの施設は農業施設として湖東大浜土地改良区が維持管理をされている施設です。特にこの水路に、家庭の雑排水を処理する合併浄化槽の処理水を流すにあたっては、ここの管理者の同意をいただいて放流されているのが現状であろうと思っています。

この農業施設については、土地改良区が管理をしなければならないということが法律上定められていますので、現実、土地改良区では農家の方々から賦課金を徴収されて、農道あるいは水路、畑かんの管理等をやっておられる状況があります。そのため、この農道あるいは水路に係る関係者、農業者の方がおられなくなって、耕作されなくなる、あるいは農地ではなく別の用地になるといった状況がない限り、この施設を鳥取市が引き取る、あるいは直接管理をするということにはなりません。あくまでも土地改良区で管理をしていただくということが原則になるということです。

なお、今年の春の爆弾低気圧ということで、非常に強い南風が吹きましたが、その折にちょうどこの用水路が砂で埋まってしまったということがありました。急遽でしたが、砂の除去をさせていただきました。こういった土地改良区が管理をされる道路あるいは水路についても、砂の除去であるとか、あるいは修繕等がされる場合に、土地改良区の方で2割負担が前提です。2割持ちますので市の方で整備をお願いできませんかというお話がありましたら、鳥取市としては今までどおり支援をさせていただきたいと考えています。

農道及び農業用水路



農道及び農業用水路 写真①



農道及び農業用水路 写真②



それから、最終的に農地が農地でなくなる、あるいはここを耕作する方々がおられなくなる、あるいは土地改良区が解散されるという場合には、この農業施設の所管を鳥取市が受けるということについては検討していきたいと考えています。

(地元意見)

学園前団地は、現在一戸建て70世帯、平成3年から随時家を建てて入ってこられて、ちょうど20年経過しています。その時点では、その農業用水を生活排水として利用するという説明はどこからもありません。入ってから、現実には湖東大浜改良区さんが維持管理をなさっているということで、自転車が用水路で眠っている状況や、ヘドロがたまってどうしようもない状況を見かねて、改良区さんを通じて農村整備の方々にご無理をお願いして、その都度2割負担を町内会が負担し続けてきています。これからは先ほどの説明を聞く限りではその2割負担は恐らく永久になくならないだろうという気がしています。

我が町内会は、今まで4回から5回、改良区さんを通じてお願いしています。学園前団地町内会と砂丘町内会の2つの町内会でそれぞれ2割の負担をしていますので、40万円から50万円にはなっているだろうと思います。当然、春の砂を取っていただいた件についても、改良区さんを通じて2割負担を町内会としてさせていただく手はずになっていますので、砂取りで16万円が2割負担です。それも砂丘町内会さんとの話し合いで、来年の3月に向けて支払いをしていく格好になるだろうと考えています。

一つ、問題としてお願いできればという要望を出させていただきましたが、現実にはなかなか難しいという気がしています。

ここに入る20年前の平成3～4年の段階で、ここを生活排水で使うためには、どこの所管かも分からず、建築許可がおりたら道も生活排水も使えるだろうという無知な状態で入ってこられた方々が70世帯あります。入ってから、ここは改良区さんの道だから、受益者負担だと。当然我々町内会のそこに住む人間は受益者ですから、負担せよと言われればやむを得ないという気もしなくもないのですが、当然これが、雨水だけの話になれば若干違ってくることは明らかです。現実はその用水路を生活排水として利用せざるを得ない現実があって、要望を申し上げましたので、その切実な願いだけは聞きとめていただければ大変ありがたい。

(竹内市長)

農業用排水路の整備ですから、どこが負担するのかを市の立場から言えば、土地改良区が本来は直接の負担の相手方になると思います。しかし、湖東大浜の立場からすると、結果的に町内の皆さんが受益者だから、町内会の方に請求していくと。ただ、市から見れば、砂で埋まった農業用排水路の復旧という場合に、土地改良区に2割負担を求めて整備をし、回復させるということになります。

私も実情は理解できますが、農業用排水路を公的な事業で改善するにはこの方法しかないというところだと思います。いずれにしても全体として水路はつながっているということもあると思いますので、そのあたりをどのように考えていったらいいかということがあります。

この団地の開発が民間で行われて、そのときにディベロッパーさんの方と湖東大浜の土地改良区との話し合いで一定の協定がなされているというのが事の始まりであると聞いて

ています。ただ、こういう宅地開発のディベロッパーの方は、売って分譲したらもういなくなりしますので、そういった中で、改めて町内会の皆さん、そして土地改良区の皆さん、そして市との関係で、どういう形が一番いいのか、これまでの経緯や実態を踏まえて、例えば負担を軽減する方法はないのかといったことを考えてみる必要があると思ったところですが、実情についてのお話を伺いましたので、差し当たりのお答えは検討してきたとおりでありますが、さらに持ち帰りまして、内部で関係者と話してみたいと思います。よろしいでしょうか。

(地元意見)

そういう意向があれば大変ありがたいことですし、どうすれば維持管理が末永く円滑に進んでいくのかという観点を大きな着眼点として、町内会、地域住民、改良区さん、それから市の担当の方と話し合いの場を幾度となく継続的に設けていただいて、その上で一つの方策を出していただくことを改めてご要望、お願いを申し上げます。ありがとうございます。

(竹内市長)

今のご要望は分かりました。これまでも話し合いの場があったのかどうかは分かりませんが、これまでの経緯も一応調べた上で、市が湖東大浜の方と話し合いをしたり、意思疎通を図ることはもちろん可能です。町内会の皆さんも参加していただいて、実情あるいは異常気象が原因の場合はどうかとか、いろんな可能性や対応について話し合いの場をこちらの方からも呼びかけさせていただきたいと思いますので、調整をよろしくお願いします。

(地元意見)

今、言われたことについて、少し私も応援をしたいと思います。あけぼの町の歴史をたどりますと、今から45年ほど前に私が入ってきたときは、町内の中に6軒か7軒ほどだったのが今現在、156戸になりました。

当時、水道ではなくて井戸水でしたが、家の前の弁天閣というアパートが火事になりました。水道はついていませんから、最初は、商業のプールから水を引いて消火にあたりました。一旦鎮火しましたが、再度燃え上がって、今度は空港の入り口から消防車2台をつないで、火を消しました。ほかに類焼はありませんでしたが、その後、大変だということで、私、弁天閣も含めて3軒で涌島医院からこの湖山西小の入り口の道路まで150mmの水道管を引っ張って消火栓を何本かつけたといういきさつがあります。

湖山町がこれだけ発展してきて、これから先もまだまだ広がろうとしている。市の行政として、市長の考えとしても、鳥取市の住宅地を将来的に考えてどういう構想を持っておられるのか。基本的にその辺をきっちりしない限り、いつまでたっても大浜土地改良区との問題だということで、全面的に解決しない。鳥取市の行政として、私はもっともっと考えていただかなければならない部分があるのではないかと強く思います。湖山町全体の問題としても考えてほしいと私は思います。

(竹内市長)

あけぼの町のケースだと45年経過しているということですが、鳥取大学が昭和40年頃に移転して、これも45年ぐらい経っています。そのようなことが契機で、まちづくりが急速に始まりました。水道にしてもそうですし、下水道などはやっと追いついてきたような状況で、そのように整備が遅れてきて、その当時の高度成長期以来ですから、非常に急速な町の発展に追いつかなかったということです。

このような地域の大幅な人口増などは、ほぼ終息してきました。これから必要な整備、立ち遅れている部分についてはもちろん早急に整備を完了させたいと思います。今後、鳥取市の人口も、全体としてもそうですが、部分的に見てもごく限られた場合を除いては、急激に増加することはあまり考えられません。今の鳥取市としては、この市街化が進んでいる地域については必要な、特に遅れている下水道の整備を完了させること、それから、道路網の整備などで不十分な点、細いままになっている道路を一定の幅で確保するといったことで、地域の生活基盤の条件の整備をしていきたいと思っています。

このことについて、言い訳的なことを申し上げても仕方がないので、あまり申し上げませんが、非常に農村的な地域が急激に市街化する中で起きた、非常に大きな市民生活上の問題だったということは反省すべき点だと思っています。今や市街化が大分進んでいる中で何とか解決できないかという要望ですので、いつまでも土地改良区が何もしないから仕方がないだけ言っていようとは思っていません。まちづくりの中で、立ち遅れてきている部分、農業との接点の中で、整備が進まないでいる部分などについても考えを整理して、前向きに進められるものは進めていきたいと思っています。

<補足：農村整備課対応方針>

今後、鳥取市、湖東大浜土地改良区、地元集落のみなさんで話合いの場を設定します。その際には農村整備課をはじめ、下水・河川・道路の各担当課も同席して地元の方のご意見を十分お聞きします。その後、市の担当課の間で十分協議したうえで対応策をご提示したいと思います。

(地区会長)

我々が提出したこの課題については真剣にご討議いただいて、一定の方向、現状を示していただきました。ありがとうございます。

まず、公共下水道のことです。なぜこれを出したかといいますと、2万㎡の半分ぐらいでジュニアのサッカー場をつくろうと県の牧草地がNPO法人の方に貸し付けされています。その東側、いわゆる艇庫に近い方を地域のグラウンドゴルフができるスペースにして、一部駐車場を確保するという構想で今、NPO法人と話しているところです。そうなると、グラウンドゴルフ等を利用される地域の方々のトイレの問題がすぐ出てきます。新しい艇庫の方はきれいな簡易水洗になっていますが、ここは常時鍵がかかっていますので、この利用についてはNPO法人と県とでまず話をするという方向で対応したいと思っています。

古い大学の艇庫の方は、鍵もかかかっていませんから、私どもは清掃に来たときに黙って使っていますが、非常に汚い状況で、これも早く水洗化してきれいにしてあげる方が子どもたちのためにもいいのではないかと考えて、現状をお聞きしたくて提案しました。

それから、街路灯の関係は、発端はクラーク高校からの要望です。子どもたちが夜ちょ

っと遅くなって帰るのに非常に不安なので、あの道路を通らずに若干明るい県道の方を通りなさいと言っているが、なかなかそうはいかないということで、あそこに街路灯がつかないだろうかということで提案しています。ソーラーをとというお話で、それでも結構だと思いますが、つけるとすれば線路側ではなく芝生側、牧草地側に設置すればいいのではないかと考えています。今の時点では遊歩道の方までとは考えていませんので、その辺をクラーク高校を含めて、地元でどういうふうに対応するかということは、また相談させていただく場をつくっていただければありがたいと思います。

それからもう1点、西3丁目の水路の問題です。地域には新しく100戸を超える住宅がありまして、いろんな突然の風水害等で水路が塞がるのは事実です。現に何回か市の支援を受けて、経費負担をしながら対応しています。いろんな法制約があると思いますが、本当に生活環境そのものですので、何とか話し合いを前に進めていただきたいというのが本音です。

それから、湖岸周回道路の件は長年要望してきましたが、まだまだ展望が開けない現状なのであえて今回も出しました。説明では、近くそれが完成して、いろんな施設もできるということですので、一安心をしているところです。願わくば療養所に向けた道路の設置を何とかお願いできないかなと。これは難しい環境だと思いますが、大学の前からずっとくる道路環境は、学生がたくさん朝通学をします。しかも自転車で通りますので非常に危ない状況があります。側溝に蓋をして、地元の要望に対応していただけると聞いています。そうなればうれしいなと思いますが、あそこは大型車が踏切を横断できない現状があります。そういうことも踏まえて、将来的に突き抜けの道路が何とか考えていただけないかというのは、地元のずっとこれからの要望になるのではないかなと思っています。

以上、まとめてお願いをしておきたいと思います。どうぞよろしく申し上げます。

7 市政の課題についての意見交換（フリートーク）

（地元意見）

湖山池周辺の環境について意見を述べさせていただきたいと思います。湖山池の水質の浄化は、大きく前進をしています。これは、数十年にわたる懸案事項でしたが、その周辺で生活をする農業者、漁業者の共有になかなか折り合いがつかなかったところ。畑かんの方は千代川から真水を引くということで解決がなされ、また、湖山池の方は、何百年という歴史の中でつくり続けてきたこの水田から畑地への転換ということで、飼料作物への移行をしたわけです。5,000mg/l、6,000mg/lと塩分濃度を上げていくということで、アオコやヒシもかなり防いでいるのではないかなと思っています。それに加えて、長年議会でも多くの議員の方々からも質問等も出されています養鶏場の悪臭の問題です。これも湖山池の周辺の公園化構想などが、一向に進まない要因の一つであったのではないかなと思っています。立ち退きの強制まではできませんが、移転等を考えることは対応される手段ではないかなと思っています。

ただ鳥取市、県だけの問題ではありません。湖山池は国の財産でもあると思っていますし、ジオパークのエリアにも入っていますので、きれいな環境をつくっていくことは必要ではないかと思っています。

30年で汚れた水質は、私は浄化に60年はかかるのではないかなという思いはしてい

ますが、徐々にでもきれいになっていくことは間違いありません。昔は湖山池に鯛がいたと言われていたくらい非常にきれいで、私も子どものころは毎日湖山池で水泳をしていました。本当に1mぐらいの透明度があったと思います。きれいにしていくことはいいのですが、やはり悪臭の問題は湖山池の周辺住民からは大きく問題視されているところで、この辺を早急に解決いただけるよう対策を講じていただきたいと思います。

(農林水産部次長)

湖山南4丁目にあります養鶏場の悪臭対策は、平成22年に何点かの対策を講じておられます。飼料をにおわないものにするとか、あるいは鶏ふんの対策、それから設備の対策を実施されていまして、その結果、具体的には5カ月後にはアンモニアの値が、対策前に比べて9割削減されたと伺っています。しかし、現実にはにおいはありますので、今後とも業者の方と一緒に悪臭対策を進めていきたいと考えています。

(地元意見)

私は、今年養鶏場の悪臭の件で市の方と一緒に回りました。どういアンモニアの検査をされているのかわかりませんが、私らが行ったときには攪拌^{かくはん}していないのです。やめているから絶対臭気が出ておらず、全くにおわなかったです。攪拌^{かくはん}していない業者の方が利口なのです。我々が調べるときには業者は絶対に動かない。そういう調査の仕方だったら困りますよ。

(環境下水道部次長)

一般的に悪臭を放つような建物の中でも、レークファームさんの場合は機械を動かさないとおいが出てこないということで、攪拌^{かくはん}のお話をされたのだろうと理解しています。普段日常的な攪拌^{かくはん}の状況を一々見ているわけではありませんが、攪拌^{かくはん}の状況が日常とは違うという指摘のようですので、次、9月に測るときに攪拌^{かくはん}状況について事前に確認して測らせていただきたいと思います。

(地元意見)

市長さんに一つお聞きしたいことは、鳥取市庁舎の問題です。新築移転、それから改築整備、どちらにしても市民のお金を使っています、住民投票されましたよね。多額の費用を費やしましたが、それに対して、どうなっているのか、声が聞こえてこないし、見えてこない。今この辺まで進んでいるということを聞かせていただければ非常にありがたいです。

(竹内市長)

皆さんに大変関心を持っていただき、そしてこれは議会の方で住民投票をするのだという事で議決もあって、全市で約5割の方に実際投票に行ってくださいました。鳥取市初の住民投票で、鳥取市は新築移転を計画して準備を進めていきましたが、反対の意見もあって、耐震改修という対案を議会も用意して住民投票になり、結果は耐震改修が4万7,000票、新築移転は約3万1,000票で、耐震改修でいけというのが基本的に投票者の

過半数を占めましたので、そちらの方針で検討を続けています。

その検討をするにあたって、新築移転の代替案である耐震改修については、ある意味で住民投票にあわせて、ごく概略の考え方の骨子が示されました。住民投票の5月20日から、8月30日まで3カ月と10日経りましたが、その間に議会の調査特別委員会が12回開かれる中で、本当に20億8,000万円のできるのかといった議論や、住民投票までには分かっていなかった、調査もしていなかった点敷地内の文化財の関係の調査、あるいは地質の調査があったりと、この耐震改修の案の中身、かかる費用や設計の中身、特に費用問題が焦点になっていると思いますが、これまで提案をした会派の、あるいは提案を受けて議会としてまとめた代替案をもう一度内容を精査しているというのが現状です。

一方で、鳥取市の執行部としても、先ほどの文化財の調査とか、土質の調査に今、取り組んでいます。まだ最終的な報告ができていませんが、そういった調査結果と、それから今の費用等について第三者である設計事務所からの客観的な費用の見積もりなどがもう一度はっきり示される状況になっています。少し時間がかかっていますが、合議制の委員会の中で、いろいろな意見が出る中で、段々と前進しているというふうに私は見えています。

そして、議会の特別委員会として、耐震改修案に基づく具体的な計画の内容、費用の見積もり等を今年中にはっきりさせるという考えですので、それを受けて実施に向けた具体化を市全体として、執行部も含めて進めていこうという考えに立っています。

合併特例債の期間が住民投票の後で5年間延びまして、それでゆっくりしているという意味ではないのですが、合併特例債を活用した庁舎の整備がこれからも可能となった、期間が5年延びたということも踏まえながら、どういう具体的な内容が耐震改修の方向性のもとでいいのかということを詰めている状況です。年内、あるいは年度末といった段階で、概略のことが分かると思いますし、年度末までには次の年度の予算ということもありますので、25年度どういう取り組みをするかということまで議論が進むこととなります。私としては、防災の拠点でもあるし、市民サービスの改善も図らねばなりませんので、できるだけ早く計画をまとめて前に進ませたいということで、議会への働きかけもしています。現状としてはそのような状況です。

(地元意見)

私は小学校の水泳の指導に出させてもらっています。その指導にあたって、プールに白線がないのです。普通プールにはタイルで白線を引く場合、それから塗料で白線を引く場合とありますが、湖山西小学校には、塗料の白線が全部とれてしまっている。子どもにいい姿勢で泳ぎなさいと言っても、下の白線が見えないものだからもうむちゃくちゃに手をかくし、方向が違ってくる。いい泳ぎができません。

そういう問題があるのですが、「校長先生、白線がないと困りますよ」と言うと、「いや、言っているのですが」ということで、3年間、結局白線が引かれなままです。校長先生にお願いしても、校長先生は市の方をお願いするしかなく、なかなかちが明きません。できれば私が今言った事柄について学校長や小学校の先生をいじめないようにしていただきたいと思うのですが、この地域の一住民としてお願いをしたいと思っています。

(教育長)

水泳の指導、ありがとうございます。今、鳥取の小学生の泳ぐ力というのは、おかげさまでとっても上がってきていて喜んでます。今の白線の問題は、私は全く頭になかったことです。これはお約束します。これは恐らく湖山西だけのことでなく、全市的な状況を把握してどう対応するか、これから策定していきたいと思えます。ありがとうございました。

<補足：教育総務課対応方針>

学校プールの白線については、市内全校の状況調査を行い、対策が急がれるところから、順次、補修を行います。

(地元意見)

公共下水道の未設備の部分の件についてお尋ねします。西1丁目から2丁目、3丁目、私は3丁目ですが、ここ2年ほど町内会の総会をしても、いつまで我慢すればいいのか、おまえは町内会長だろう、しっかりと目途を聞いてこいという厳しいご発言があります。ごもっともなことです。現時点で市の皆さんより、西3丁目をカバーするにはいつ頃という目途が立ったものがあれば、ぜひともお聞かせ願えれば、町内会長としてあと何年我慢しろと、帰りまして町内の皆様にもご説明申し上げることができますので、よろしく願い申し上げます。

(環境下水道部長)

公共下水道に関しましては、非常に財政状況が厳しい中、向かわせてもらっているということがあります。これについては、大体の目途が決まった時点で町内会の方に出ささせていただきますまして、多分12月頃になろうかと思えますが、全体を一度会長さんにご説明をさせてもらっているという状況です。今年は西3丁目を、400mほどですが既に発注しています。それと湖山町北1丁目は9月から3月という状況ですし、あと3工区としては、130m程度ですが、湖山町南5丁目を一応10月から3月ということで計画しています。詳細について、会長さんの方へでもお伺いして、施行箇所についてはまたご説明をさせていただけたらと思えます。

(地元意見)

全体像としていつ頃になるという目途は立っているのかどうかをお尋ねしているのです。町内にあと何年待てと。430mができたからつながるわけではないでしょう。

(環境下水道部長)

今、何年先ということ言ったら、また無責任な回答になろうかと思えます。これについては、また年末までには出ささせていただきますまして、各町内会長さんなりに集まっていたいで、一応何年頃という格好で説明をさせていただけたらと思えますので、よろしく願いいたします。

8 市長あいさつ

今日の湖山西地区の地域づくり懇談会は、地域のまちづくりに関する道路や水路、あるいは公共下水道といったことでのご不自由、ご不便、あるいは課題があるという中で、鳥取市としてはあらかじめ検討した限りではこのような考え方、このような認識だったというところでの説明もさせていただきました。それに対していろいろご意見もいただいて、さらに一步前に進む具体的な取り組みも申し上げさせていただいたと思います。

また、今回提起されたテーマの説明も、具体的に補足を含めていただきました。引き続きこの課題の解決に向けてどこまでできるかというのが我々に問われていると思いますので、取り組みを前進させたいと思います。

あわせて地域の皆様方には、きょうもワクワクまつり等、いろんな活動の報告がありました。地域内で、防災にしても、交通安全にしても、あるいは文化的な活動にしても、こういった施設を活用しながら協働のまちづくりの取り組みをされておられます。これを大事な取り組みだと私たちは考えていますし、こうしたことを通じて地域の皆さんのいろんな連帯感や、地域に対する誇りとか自信とか、いろんなことができてくると思います。新しい芝生広場の構想もいろいろ前進中ということですし、鳥取市の湖山西地区の住みよい生活環境がより前進をしていくように、市役所の立場からも地元の皆さんの立場からも、ぜひとも力を合わせて前進を図らせていただきたいと思います。

今日お集まりの皆様方におかれましては、貴重な時間を割いてご参加をいただきました。今日の議論を無駄にしないように、1歩でも2歩でも前進させるように、お互いに力を合わせたいということで締めくくらせていただきたいと思います。どうぞ今後ともよろしく願いいたします。今日はありがとうございました。